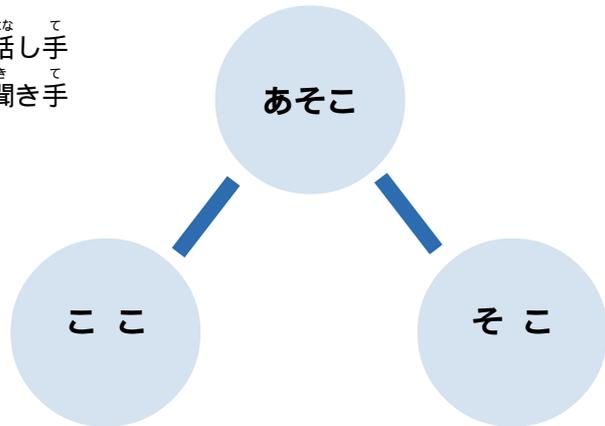


[図1]

はな  
て  
: 話し手  
き  
: 聞き手



[図2]

基 本

例 文

① (学校を案内しながら)  
ここは1年生の教室です。

② (学校を案内しながら)  
そこは図書室です。

③ (学校を案内しながら)  
あそこは事務室です。

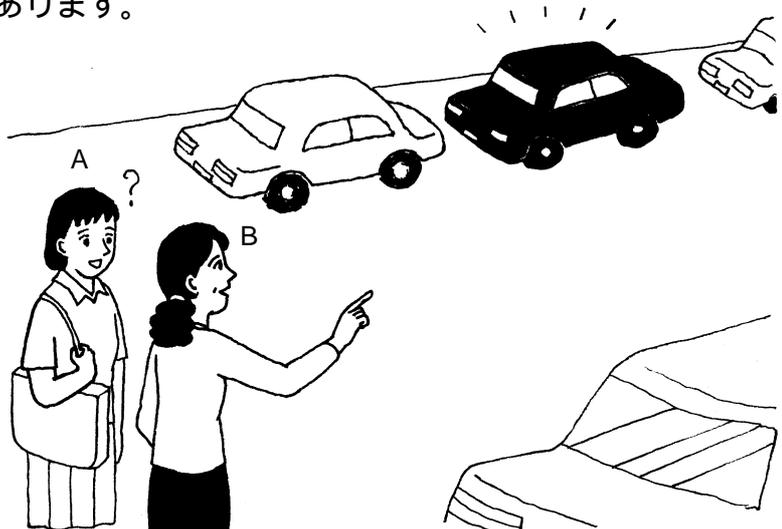
④ まりさんのかばんはそこにあります。

⑤ あそこに先生がいます。

⑥ A: すみません、トイレはどこですか。  
B: あそこです。

A: ありがとうございます。

⑦ A: 先生の車はどこにありますか。  
B: あそこです。



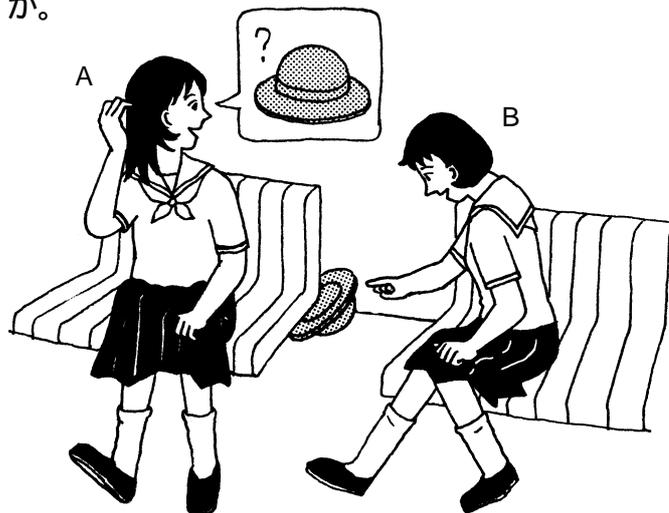
例文⑦

⑧ A: わたしのぼうしはどこにありますか。

B: そこにあります。

A: どこですか。

B: あなたのうしろです。



例文 ⑧

解説

- A. 「ここ / そこ / あそこ」は特定された場所を指す。(例文①～⑧)
- B. どこかわからない場所についてたずねるときは、「どこ」を使う。(例文⑥⑦⑧)
- C. 話し手と聞き手が同じ領域にいる状況で、「ここ / そこ / あそこ」の領域は [ 図1 ] のようになる。(例文①②③⑥⑦)
- D. 話し手と聞き手が相対する状況で、「ここ / そこ / あそこ」の領域は、[ 図2 ] のようになる。(例文⑧)

先生へ

「ここ / そこ / あそこ」は指示詞。  
 指示詞のまとめは、巻末「2. 指示詞」(p.259)を参照。

|   |  |
|---|--|
| <p><b>【関連項目】</b></p> <p>語-02 これ / それ / あれ</p> <p>語-03 この / その / あの</p> <p>語-09 こそあど</p> | <p><b>【「れんしゅう編」の練習】</b></p> <p>2-10 わたしの学校</p> |
|---|--|